

平成28年度 社会福祉法人八康会 事業報告

総 括

平成10年8月に特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、ケアハウス、在宅介護支援センターを開設した当法人は、その後ヘルパーステーションや居宅介護支援事業所などを開設し、久御山町内の中核的な施設として地域との関わりを深めながら事業運営を行ってきた。

(利用者サービスの質の向上)

各事業所においては利用者の命と尊厳を守り、一人ひとりが楽しいと感じる暮らしと、健康で生きがいをもって日々の生活ができるように、利用者サービスの質の向上を第一に事業を展開してきた。法人のすべての職員が、利用者の笑顔と満足を求めて、利用者の立場に立ち、安定した良質なサービスを適切に提供できるよう努めてきた。

とりわけ、利用者の権利擁護を実現するために、施設内虐待の未然防止、予防に取り組み、虐待を発生させない体制づくり・風土づくりを行うことを目指した。具体的には、法令遵守の徹底を図り、虐待ゼロをめざす研修を繰り返し実施した。

また、すべての事業所において利用者アンケート調査を実施し、ホームページに載せて公表するなど、更なるサービス向上に努めている。

(福祉サービス第三者評価の受審)

サービス内容及び質の現状を客観的に把握し、利用者サービスの向上に資するため、平成27年度の特別養護老人ホームに引き続き、平成28年度においては、デイサービスセンター楽生苑においても「福祉サービス第三者評価」を受審した。

昨年度の取組をさらに強力に進めるとともに、法人内サービス評価委員会を計10回開催し、これまでの種々の取組状況を評価し見直しを図った。評価結果は概ね良好であり、ホームページにおいてもその内容を公表している。

(広報活動)

広報活動については、利用者サービス向上や職員確保にとっても重要であるが、今年度は各事業所において広報誌の発行を定期的に行うなど施設の情報の発信を行い、また、ホームページを積極的に活用し、随時更新を図るよう努めた。今後は、運営情報の開示を

含め、さらなる充実強化が必要である。

(地域との連携)

久御山南病院との合同夏まつりを始めとして、小学生との交流や中学生の体験学習受け入れ、災害時における協定を地元自治会と締結、利用者の外出支援など、地域の活性化、つながりの構築に向けて、多様な関係機関や個人との連携・協働を進めてきた。

今後も、社会福祉法人の責務としての「地域における公益的な取り組み」を進め、地域に信頼される施設づくりを目指すことが重要である。

(人材確保)

全国的にも介護関係での人材不足が大きな課題となっており、人材確保は喫緊の課題である。就職フェアなどへの出展を積極的に行った。

一方で、職員の離職防止を含めた対応が重要であり、ワークライフバランスに配慮した働きがいのある、魅力ある職場づくりに取り組むことに努めた。平成28年8月、京都府が実施する「組織活性化プログラム 職員アンケート」を活用し、職員の思いを職場づくりに生かすため、法人として初めて職員全員の生の声をウェブシステム・無記名方式で把握する職員アンケートを実施した。

(各種リスクマネジメント対策の強化)

各種リスクマネジメント対策の強化や事業を継続的に実施するための取り組みを強化することが求められており、とりわけ、自然災害や火災などを想定した訓練の実施などの取り組みを行った。平成28年6月、京都府が実施する「平成28年度水害対応訓練」において、「災害時要配慮施設における避難訓練」を実施する施設として参加した。(山城広域振興局管内では、当法人のみが指定を受けた)

(経営の安定化)

経営面では、介護報酬の改定年度にあたり厳しい状況ではあったが、特に稼働率低下による減収が顕著となった年度であった。特に、特別養護老人ホームにおける入院者及び退所者発生後の空床運用の進め方やショートステイの稼働率向上が課題であった。

今後は、収入の確保と経費削減を基本として、より経営的感覚をもって取り組みを強化することが求められる。

1. 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）

定員 60 名

利用者一人一人に寄り添った介護の充実を図ることに重点を置き、個別処遇計画に基づく個別ケアを中心にサービス提供を行ってきた。毎月の会議等で業務改善を行うことで、利用者と共に過ごす時間の確保ができたことなど一定の効果はみられた。

職員の資質向上については、施設外の研修に参加することや、各委員会（事故防止、身体拘束廃止、処遇改善、感染症対策、褥瘡予防対策）主催による苑内研修も行き、施設内での研修に生かすことができた。

今後も、継続しながら個々のサービス内容の見直しも進め、よりよいサービスの提供を行う。

(1) 施設利用状況

施設の利用状況は、表 1 のとおりである。平成 28 年度の年間延べ利用者数は、19,799 人(前年比-681 人)外泊算定者を合わせた 1 日平均で 54.2 人(同-1.8 人)、ベッド稼働率は 90%(同-3%)であった。平均要介護度は 4.1 であった (同-0.2)。

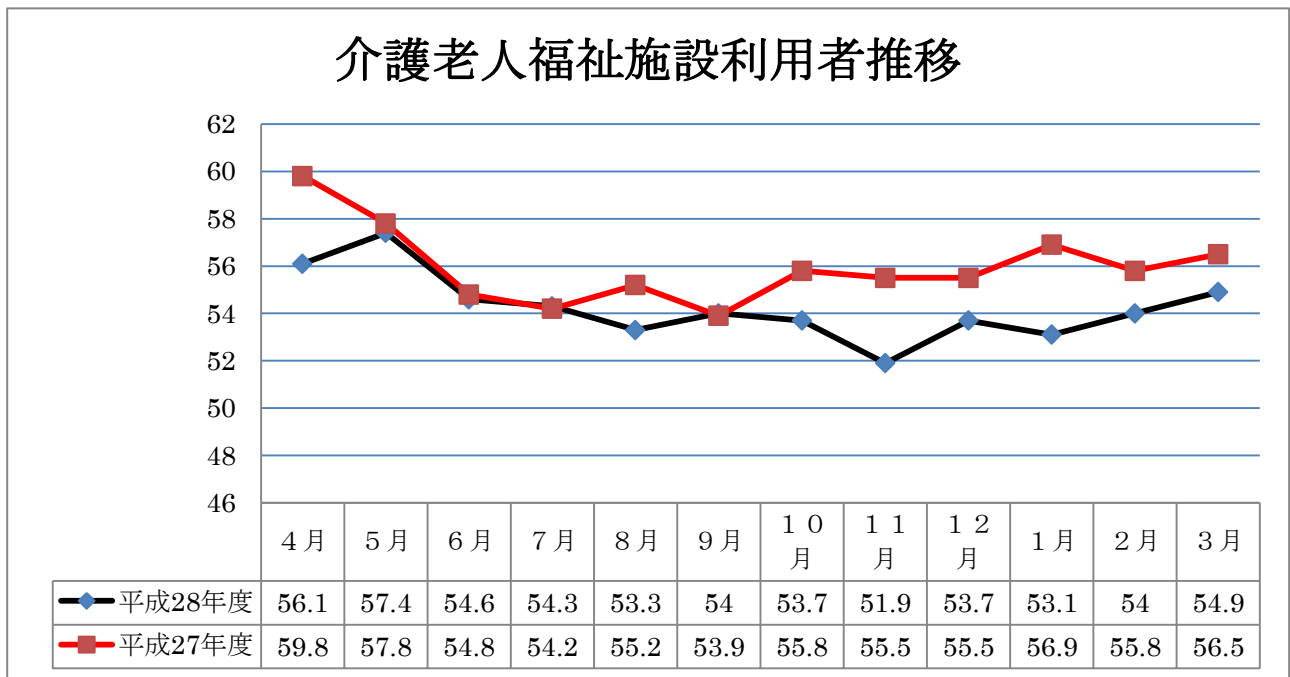
入退所状況については、昨年度に比べ、年度開始当初は退所後のスムーズな次入所予定者の受け入れにむけて、事前準備等を行い、順調であったが、6 月頃より体調不良者が多数となり、入院日数が大幅に増えたこと(同+325)と、2 月にインフルエンザ発症（3 名）があり隔離対応することで次入所予定者の入所が遅れるという状況となり、稼働率低下を招いた。

平成 29 年度については、これまで以上に医療（久御山南病院）との連携を行い、入院日数の減少に対処したい。

表 1 介護老人福祉施設の利用状況

特養	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	
平成 28 年度	延利用者数	1682	1780	1639	1683	1651	1619	1664	1556	1666	1646	1512	1701	19,799
	稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
	1日平均(人)	56.1	57.4	54.6	54.3	53.3	54.0	53.7	51.9	53.7	53.1	54.0	54.9	54.2
	入院日数	38	79	161	152	152	96	158	106	157	208	76	65	1,448
	稼働率%	93%	96%	91%	90%	89%	90%	89%	86%	90%	88%	90%	91%	90%
前年度1日平均(人)	59.8	57.8	54.8	54.2	55.2	53.9	55.8	55.5	55.5	56.9	55.8	56.5	56.0	
入所者数	3	1	1	2	0	3	1	1	3	1	0	4	20	
退所者数	0	0	3	1	3	1	2	1	1	2	2	2	18	

図1 介護老人福祉施設の利用者数の推移



(2) 利用者の生活の状況

平成28年度の事業計画の重点項目「一人一人に寄り添った介護の充実を図る」に基づき、個別ケアの充実に取り組んだ。

毎月のフロア会議等で個別処遇計画の見直しを行った。よりよい生活を送るために何が必要で何をすべきかということに重点を置いて、見直しを行った。

施設内の生活としては、季節を感じられる行事を中心に計画し、外出行事として、お花見と外食・工場見学で、季節感を感じられる行事を企画実行した。

苑内行事としては、8月に夏祭り、10月には運動会、12月にクリスマス会を行い、2月には節分お楽しみ会などが実施できたことは苑外へなかなか出かけることができない利用者にとっても非常に喜ばれた様子であった。

表2 年間行事

4 月	お花見（久御山中央公園 ゆうホール 楽生苑周辺）、外食、工場見学）
5 月	おやつ作り（お菓子パン作り）
6 月	おやつ作り（たこ焼き作り）
7 月	おやつ作り（ところ天づくり）
8 月	夏祭り
9 月	敬老祝賀式 おやつ作り（ミニアメリカンドッグ）
10 月	運動会 おやつ作り（スイートパンプキン）
11 月	おやつ作り（ケーキバイキング）
12 月	クリスマス会 ゆず湯
1 月	おやつ作り（たこ焼き作り）
2 月	節分お楽しみ会 八つ橋作り
3 月	

表3 利用者の状況（H29.3.31現在）

<日常生活>

	自立	一部介助	全介助
食事	20	13	25
起座	9	17	32
立ち上がり	9	17	32
着脱	6	12	40
寝返り	12	12	34
入浴	0	5	53
歩行	0	2	0
歩行器等	0	5	0
車椅子	0	17	34
	自立	トイレ介助	おむつ交換
排泄	4	21	33
	一般浴	車椅子浴	寝台浴
入浴種類	2	29	27

<要介護状況>

要介護1	
要介護2	1
要介護3	16
要介護4	25
要介護5	18
要介護平均	4.1

<平均年齢>

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男	99	57	84.9
女	106	69	88.5
			88.1

<性別、年齢及び入所期間>

区分	～ 6ヶ月未満	6ヶ月以上 ～ 1年未満	1年以上 ～ 3年未満	3年以上 ～ 5年未満	5年以上 ～ 10年未満	10年以上 ～ 15年未満	15年以上 ～
60～64歳 男	1						
60～64歳 女							
65～69歳 男							
65～69歳 女	1						
70～74歳 男							
70～74歳 女							
75～79歳 男	1						
75～79歳 女		1	2	1			
80～84歳 男				1	1		
80～84歳 女	5	4	2	2	2	1	1
85～89歳 男							
85～89歳 女	1		3		2	1	2
90～94歳 男							1
90～94歳 女	1	5	3	2	3		
95～99歳 男				1			
95～99歳 女			1	3		2	
100～104歳 男							
100～104歳 女					1		
105～歳 男							
105～歳 女					1		
	9	10	11	10	10	4	4

<認知症老人の日常生活自立度>

区分	正常	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	その他	合計
男	0	0	0	1	1	1	3	0	0	6
女	2	1	6	8	7	18	8	0	2	52

<障害老人の日常生活自立度>

区分	正常	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	その他	合計
男	0	0	0	2	2	0		1	1	0	6
女	0	0	0	3	4	8	25	0	10	2	52

(3) 健康管理について

定期的な健康管理として、毎年4月に一般健康診断を行っている。何か異常があれば追加検査を行い、嘱託医より家族に説明を行い、今後の治療方針を相談・決定している。

平成25年度より、NST会議（栄養サポートチーム会議）を発足し、特養利用者60名の既往歴に基づいた追跡検査等を行い、再発等健康管理をすることで予防をしていくことを目的としている。

入院者数について、延べ36人実人数30人（入院病名として肺炎、気管支炎・骨折・酸素濃度低下、尿路感染等）月平均5名入院している。死亡者については、10名（内 入院中10名 施設内0名）であった。利用者の高齢化及び要介護度の上昇があり、入院者及び入院日数が増加してきており、稼働率に影響が出ている。

感染対策としては、地域での感染症情報の収集、施設内の感染症の把握、感染症の知識を職員で共有するなど、感染症対策委員会を中心に行ってきた。

平成28年度の感染症としては、前述したが、2月にインフルエンザA型3名発症した。（前年比-7名）予防対策として予防接種は実施していたが、発症を防ぐことはできなかった。今年度は各部署で開催していた感染症対策委員会を全部署で集まることとし、法人全体として対策に取り組んできた。感染症発症のたびに臨時感染症対策委員会を開催し、隔離方法などの対応策の検討確認や拡大防止の徹底などを確認した。

看取りについて、指針の再編集や職員にむけての研修（苑外・苑内）を行った。昨年度は実際に看取りの実績はないが、今年度も同様に体制を整え取り組んでいきたい。

(4) 栄養管理について

食事提供では平均栄養基準と実績（カッコ内）は、熱量1541kcal(1623cal) たんぱく質51g(66g)であった。利用者個々の身体状況、嗜好に配慮した食事提供ができた。また嚥下・咀嚼機能の変化、疾病状況の変化に添い、迅速に対応できるよう給食委託業者と調整しながらおこなった。

厨房内の衛生管理については委託業者内研修や情報提供などで、感染予防に努め対応できたが、これからも一年間を通し、緊張感をもって衛生面や環境整備に今後も取り組み、予防に努めていく。

栄養ケアマ・マネジメントでは個々の栄養管理について多職種で構成される担当者

会議、南病院とのNST会議で食種の経緯・体重変化・血液データ・栄養状態のレベル、栄養ケアの経過報告等を基に今後の改善目標を設定し、一人一人の利用者の状況、変化に対し、健康維持・疾病予防・栄養改善のための具体的な提供方法を検討し、実施をはかってきた。また、摂食・嚥下障害対象者にむけて多職種による協働で口から食べる支援を経口維持計画を立て実施することでさらに栄養管理を強化していくことができた。

<お誕生日食・行事食（特養・ショート・ケアハウス・デイ）>

行事名	実施日	内容
4月お誕生日食	4月19日	寿司バイキング（握り寿司）
節句の日	5月5日	ちらし寿司、鯛の潮汁、柏餅
5月お誕生日食	5月22日	松花弁当（手毬寿司、ほたての五色あられ揚げ等）
6月お誕生日	6月20日	洋食ランチ（真鯛のミルフィーユ仕立てもしくは牛ヒレロースト）
7月お誕生日食・土用の丑	7月30日	鰻の蒲焼きご飯、真鯛のしそ巻き揚げ等
8月お誕生日会	8月23日	精進散らし、小鯛の塩焼き、天ぷら、賀茂ナス等
9月お誕生日会・敬老祝賀式	9月7日	松花堂弁当（赤飯、鯛の塩焼き、天ぷら）
10月お誕生日会	10月20日	松花堂弁当（松茸ごはん、刺身盛り合わせ等）
11月お誕生日会	11月21日	寿司バイキング（握り寿司）
12月お誕生日会	12月9日	おでんパーティ
クリスマスパーティー	12月24日	クリスマスバイキング
お正月	1月1, 2, 3日	お節料理（お雑煮、海老さより手綱等）
1月お誕生日会	1月25日	鍋パーティ（豆乳みそ鍋）
節分の日	2月3日	巻き寿司、いなり寿司等
2月お誕生日会	2月21日	松花堂弁当（蟹と生姜の炊き込みご飯、刺身等）
お雛様の日	3月3日	松花堂弁当（五目散らし寿司、姫高野煮炊き物等）
3月お誕生日会	3月23日	すき焼きパーティ

その他：選択食・おやつ作り等月2回実施した

米飯	軟飯	全粥	おにぎり	パン	パン一口大	ジャムサンド	パン粥ペースト	パン粥ゼリー	L5 (普通)	L5 (一口大)	L4b (軟菜食)	L4a (ソフト食)	L3 (ペースト食)	L2 (ゼリー食)	胃ろう
16	8	15	0	0	2	0	7	2	11	10	13	7	5	4	8

特別治療食 (人)

心臓食 (塩分制限食)	脂質異常食	糖尿病食	膵臓・肝臓食	貧血食	腎臓食
7	1	4	0	2	0

2. ショートステイ（短期入所生活介護、介護予防短期入所生活介護）

定員 10 名

利用者数は、表 4 のとおりである。年間のベッド稼働率は 95%(前年比+16%) 延べ利用者数は 3 4 6 9 人(同+ 5 6 9 人) の方に利用していただいた。

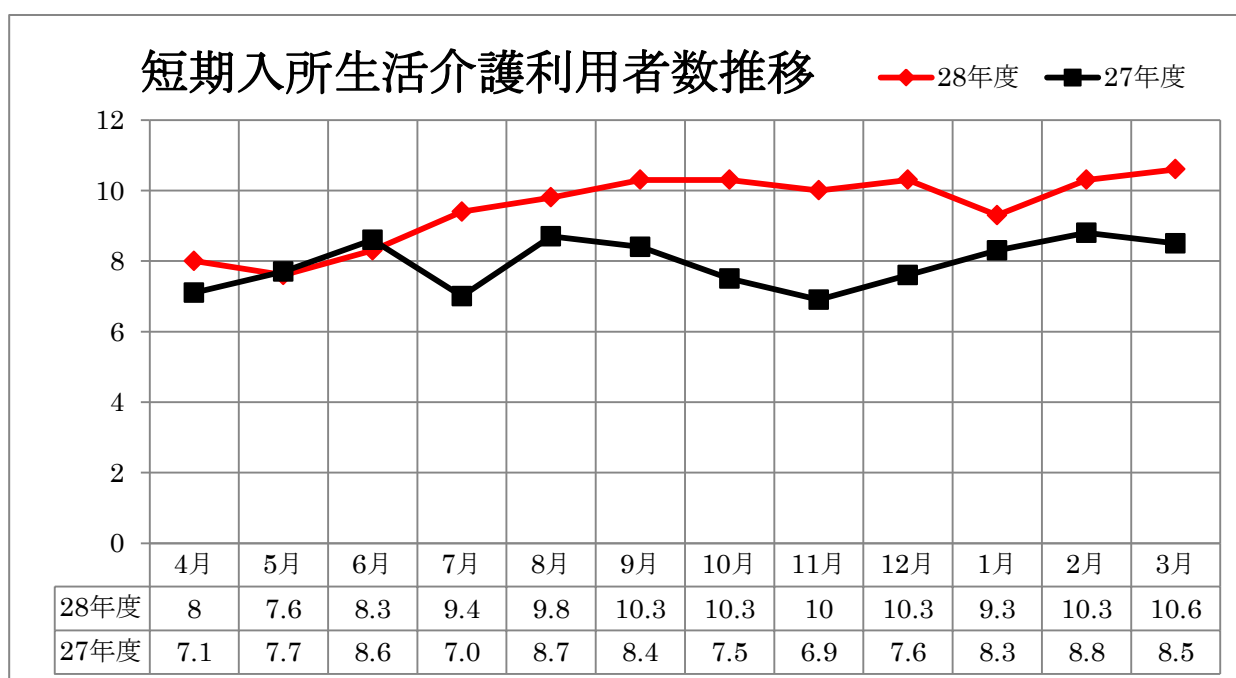
稼働率に関して、昨年度の利用者減の対策として、近隣市町村への利用者獲得の動きや、近隣施設のショート事業所の建て替え工事などの影響により、利用者数増加に繋がったと思われる。

今後もケアマネジャーなどに対して働きかけを行い、利用者獲得にさらに努めたい。

表 4 短期入所生活介護利用者の状況

ショート		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
平成 28 年度	利用者 数実績	240	236	248	291	303	308	319	301	320	288	287	328	3,469
	稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
	1日平均(人)	8.0	7.6	8.3	9.4	9.8	10.3	10.3	10.0	10.3	9.3	10.3	10.6	9.5
	稼働率%	80%	76%	83%	94%	98%	103%	103%	100%	103%	93%	103%	106%	95%
前年度1日平均(人)		7.1	7.7	8.6	7.0	8.7	8.4	7.5	6.9	7.6	8.3	8.8	8.5	7.9

図 2 短期入所生活介護利用者数の推移



3. デイサービスセンター（通所介護、介護予防通所介護）

今年度は、8つの重点項目を掲げた。

- 1) 「利用者、家族の立場に立ったケアの提供」；年間を通じ、一人一人の状態に応じたサービス提供や、季節に応じた行事を実施した。また、利用者や家族の満足度を確認するためのアンケートも実施した。
- 2) 「祝祭日の事業開催」；4月から祝祭日営業を開始し、利用者人数の増加に繋げることができた。
- 3) 「機能訓練の充実」；様々なメニューを準備し、訓練を行うことができたが、在宅での状態把握や利用者、家族の希望等の聞き取りにおいては、不十分な点もあり次年度以降の課題である。訓練評価の面では、定期的実施状況等の評価を行うことができた。
- 4) 「地域とのつながり」；外出時においては、民生児童委員にボランティアとして参加頂いた。又、毎月、介護サポーターが来苑され、利用者の生の声を聞いたり、職員との意見交換を行うことができた。
- 5) 「安心、安全なサービス提供」；送迎中も含め、大きな事故等もなく事業の実施を行うことができた。
- 6) 「職員の育成」；定例会議や各種委員会（事故防止、サービス向上、感染症対策、身体拘束廃止）の中で、研修や勉強会の実施をすることができた。ただ、実際の業務の中で、まだまだ活かしきれていない部分もあるので、さらなる内容の充実や意識向上を図る必要がある。
- 7) 「介護サービス第三者評価の受診」；平成28年1月31日に第三者評価を受診した。概ね良好な評価を頂いたが、これまで以上にさらなるサービス向上に繋げていきたい。
- 8) 「新総合事業に向けて」；平成29年度の総合事業スタートに向け、久御山町との連携を図り、必要書類の準備等を行うことができた。総合事業対象者として1名利用開始された。今後も混乱なく利用して頂けるよう対応していきたい。

(1) 利用状況

利用者数は下表のとおりである。

【7～9時間デイ】年間延べ利用者総数 6,472人（前年比+589人）、1日当たりの平

均利用者数は、年間平均で21.2人（前年比+1.0人）であった。このうち、介護予防サービスの利用者は、年間で1,115人（前年比-123人）で総利用者数の17.2%であった。

【3～5時間デイ】年間延べ利用者総数295人（前年比-12人）、1日当たりの平均利用者数は、年間平均で1.0人（前年比-0.7人）であった。このうち、介護予防サービスの利用者は、年間で139人（前年比+77人）で総利用者数の47.1%であった。

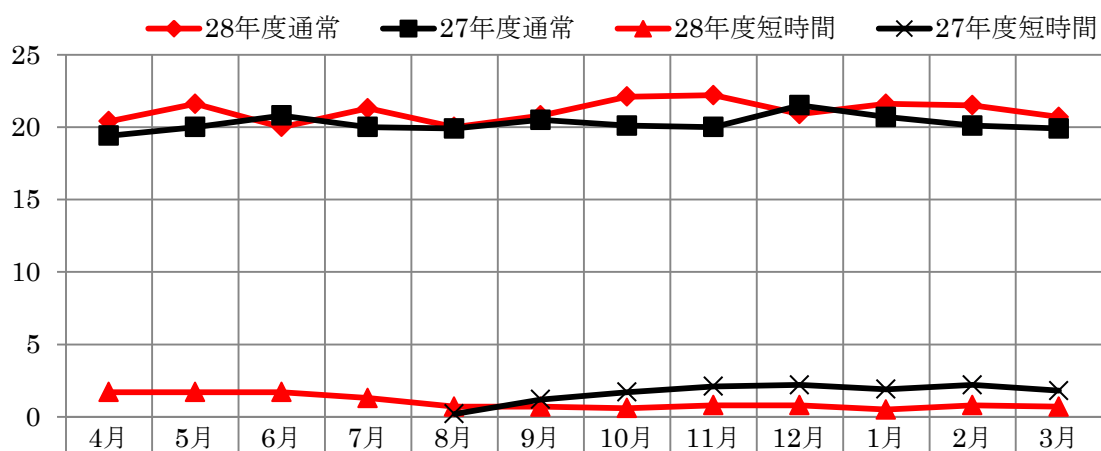
【7～9時間デイ】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
平成28年度	延利用者数	531	562	520	553	541	520	575	577	501	518	516	558	6,472人
	稼働日数	26	26	26	26	27	25	26	26	24	24	24	27	307日
	1日平均	20.4	21.6	20	21.3	20	20.8	22.1	22.2	20.9	21.6	21.5	20.7	21.1人
	稼働率(%)	81.6	86.4	80	85.2	80	83.2	88.4	88.8	83.6	86.4	86	82.8	84.4%
平成27年度		19.4	20	20.8	20	19.9	20.5	20.1	20	21.5	20.7	20.1	19.9	20.2人

【3～5時間デイ】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
平成28年度	延利用者数	43	39	44	32	17	17	15	20	19	12	18	19	295人
	稼働日数	25	23	26	25	26	23	25	24	23	23	23	26	292日
	1日平均	1.7	1.7	1.7	1.3	0.7	0.7	0.6	0.8	0.8	0.5	0.8	0.7	1.0人
	稼働率(%)	34	34	34	26	14	14	12	16	16	10	16	14	20.0%
平成27年度						0.2	1.2	1.7	2.1	2.2	1.9	2.2	1.8	1.7人

通所介護利用者推移



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
28年度通常	20.4	21.6	20	21.3	20	20.8	22.1	22.2	20.9	21.6	21.5	20.7
27年度通常	19.4	20	20.8	20	19.9	20.5	20.1	20	21.5	20.7	20.1	19.9
28年度短時間	1.7	1.7	1.7	1.3	0.7	0.7	0.6	0.8	0.8	0.5	0.8	0.7
27年度短時間					0.2	1.2	1.7	2.1	2.2	1.9	2.2	1.8

表2【年齢階層】

(H29.3.31現在)

	55～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95～ 99歳	100歳～	平均 年齢
男性	0名	0名	5名	7名	4名	1名	2名	1名	84.4歳
女性	1名	0名	3名	10名	15名	11名	3名	1名	86.5歳
計	1名	0名	8名	17名	19名	12名	5名	2名	85歳

表3【介護度】

	要 支 援 1	要 支 援 2	要 介 護 1	要 介 護 2	要 介 護 3	要 介 護 4	要 介 護 5	平均 介 護 度
男性	1名	3名	2名	7名	6名	0名	1名	2.0
女性	2名	11名	5名	10名	11名	5名	0名	1.9
計	3名	14名	7名	17名	17名	5名	1名	1.9

表4【利用期間】

	1年 未 満	1年以上 3年未 満	3年以上 5年未 満	5年以上 7年未 満	7年以上 10年未 満	10年 以 上
男性	2名	10名	4名	1名	2名	1名
女性	8名	17名	8名	6名	2名	3名
計	10名	27名	12名	7名	4名	4名

表5【日常生活】

食事			排泄			入浴			着脱			移動						
自立	一部 介 助	全 介 助	自立	一部 介 助	全 介 助	一 般 浴	車 椅 子 浴	ス ト レ ッ ト ク ャ ー 浴	自立	一 部 介 助	全 介 助	独歩		杖・歩行器		車椅子		
												自立	一 部 介 助	自立	一 部 介 助	自立	一 部 介 助	全 介 助
57名	5名	2名	43名	10名	11名	43名	20名	1名	43名	15名	6名	8名	3名	34名	3名	5名	3名	8名

(2) 行事報告

4月	花見 : 東一口
5月	おやつ作り: 桜餅
6月	買物 : イオン久御山
7月	おやつ作り: 抹茶白玉あんみつ
8月	夏祭り
9月	交流会 : 御牧幼稚園
10月	買物 : イオン久御山
11月	おやつ作り: お好み焼き
12月	クリスマス会
1月	新年会
2月	買物 : イオン久御山
3月	おやつ作り: だらやき

4. ケアハウス

平成 10 年度に開設してから約 19 年が経過し、本年度は利用者の心身の加齢に伴う虚弱化が進み、転倒骨折や自立の方が内部疾患治療中に急変し、入院に至るケース等が 3 ケースあった。

また難病の進行で介護サービスの見直しに至るケースもあった。循環器系、脳神経系、糖尿病などいわゆる高齢に伴う生活習慣病についての医療的管理がますます必要となっている。その為に、普段からご家族との良好な関係を維持しながら、日常生活を楽しんでもらうよう援助を行った。

1. ケアハウス入退居状況

平成 28 年度は、退居者が 1 名、入居者が 1 名であった。

(主な退居理由は、認知症の進行等で要介護 3 となりケアハウスの生活に支障が多くなったため、神経内科の主治医から生活・介護環境の充実した特養への移行を勧められた為。)

表1 入居年数 (定員 15)
(27年 28年 各年度末 在籍者調べ以下同)

	0～3年未満		3～6年未満		6～9年未満		9～12年未満		12年以上～		合計(人)	
	27年	28年	27年	28年	27年	28年	27年	28年	27年	28年	27年	28年
	入居者数	8	8	0	1	2	1	2	2	3	3	15
年度別全体比	53%	53%	0%	7%	13%	7%	13%	13%	20%	29%	100%	100%

表2 介護度 と 入居年数

	0～3年未満		3～6年未満		6～9年未満		9～12年未満		12年以上～		合計(人)	
	27年	28年	27年	28年	27年	28年	27年	28年	27年	28年	27年	28年
	自立	1			1			1	1	3	2	5
要支援 1							1	1			1	1
要支援 2	2	3									2	3
要介護 1	4	3			1	1					5	4
要介護 2		1								1	0	2
要介護 3	1				1						2	0
要介護 4		1									0	1
要介護 5											0	0
合計	8	8	0	1	2	1	2	2	3	3	15	15

表3 年齢 と 入居年数

	0～3年未満		3～6年未満		6～9年未満		9～12年未満		12年以上～		合計(人)	
	27年	28年	27年	28年	27年	28年	27年	28年	27年	28年	27年	28年
74歳～76歳											0	0
77歳～79歳	1				1	1			1	1	3	2
80歳～82歳	1	3									1	3
83歳～85歳	3	2		1					2	1	5	4
86歳～88歳	3	2								1	3	3
89歳～91歳		1									0	1
92歳～94歳					1		1	1			2	1
95歳～							1	1			1	1
合計	8	8	0	1	2	1	2	2	3	3	15	15

(注)

- ① 入居3年までが53%を占める。次に9年以上が33%で、この両端で9割弱。
- ② ケアハウス開設当初で入居年齢が60歳～70歳前半の比較的元気な人が現在も自立を維持。
- ③ 最近の入居申し込み傾向は、80歳以下はなく、要介護認定を受けている人がすべて。
- ④ 自立の利用者と要介護度とのバランスある生活、事業が課題。
- ⑤ 最近の利用者の要介護者の問題は身体面というより、認知症に基づく日常生活支援が必要で、其の進行も1～2年で急激であり、生活に支障が大きくなってきている。
- ⑥ 利用者の健康管理面での認知症への関心は大きく、それぞれが自分の問題として捉えられてきている。

2. 利用者の所得階層 月別稼働率一覧

表4

階層の区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	27年	28年	個人徴収額(円)
150万円以下	1	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	40%	29%	10,000
150万1円～160万円以下	2				2	2	2	2	2	2	2	2	2	4%	10%	13,000
160万1円～170万円以下	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9%	7%	16,000
170万1円～180万円以下	4	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	18%	25%	19,000
180万1円～190万円以下	5	4	4	4										12%	7%	22,000
190万1円～200万円以下	6				1	1	1	1	1	1	1	1	1	11%	5%	25,000
200万1円～210万円以下	7	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7%	7%	30,000
240万1円～250万円以下	11					1	1	1	1	1	1	1	1	3%	4%	50,000
290万1円～300万円以下	16	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12%	7%	85,000
	計	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	100%	100%	
稼働率		93%	93%	93%	87%	93%	93%	93%	93%	93%	93%	87%	85%	1%		

(注)

- 1) 所得階層は210万円 以下が91%
- 2) 月負担額は、水光熱費を入れても11万円までが大半

3. 介護保険サービス利用 実人数

表5 実利用者数 (年度末)

		H27	H28
実利用者		10	11
内訳	デイ利用者	10	10
	ヘルパー利用者	6	8
	福祉用具利用者	8	10

据え置き手摺の活用

表6 利用回数 (年度末)

週利用回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	合計
デイ利用実人数	1	5	1	1	1	1	10
ヘルパー利用実人数	4	2	1	1			8

(注)

- 1) 要支援の人で不定期にシルバー使いヘルパーやデイを使わない人もある。
- 1) 入浴3人のデイの目的は他者との交流や脳トレを重視

4. 行事報告

- 1) 入居者がそれぞれのやりたい事が継続でき、生きがいを持ち、楽しく日常生活を過ごして頂けるように、また畑や憩いの屋上等で季節感やコミュニケーションをとりながら活動していけるよう各種の行事を実施した。

表7 年間 行事 一覧表

年月	主な行事内容
4月	東一口への花見、畑の耕作、イオンへの買物
5月	買物・昼食、さつまいも苗植え、久御山町第20回ふれあい福祉まつり参加、イオンへの買物
6月	ミニ外出、音羽茶屋・サめじや・未来軒) 軽食、百均) 買物、イオンへの買物、 水害対応訓練
7月	4階ケアハウス避難訓練 (1階屋内駐車場出火想定)
8月	南病院・楽生苑合同夏祭り、トップセンターへの買物、さつまいも畑草取り
9月	敬老会、イオンへの買物
10月	イオンへ買物、 伊勢神宮レク利用者家族15人(マイクロバス) 、全館避難訓練2階洗濯室夜間想定
11月	紅葉見物ミニ外出、さつまいも掘り
12月	インフルエンザ予防接種(希望者13名)、クリスマス会(プチエルパニョールチョコorシユレ+コーヒーor茶)+プレゼント、(洗剤+お茶)クリスマス飾り、全館避難訓練(1階厨房出火想定 全館放送) ご利用者・ご家族へ満足度調査(アンケート)実施
1月	初詣(城南宮神社+ステーキハウス食事会)8人、イオンへの買物、
2月	お茶会(抹茶)、イオンへの買物、ケアハウスニュース発行、4階ケアハウス避難訓練、 全館避難訓練(2階洗濯室出火 夜間想定 全館放送)
3月	茶話会(29年度の行事について検討)、イオンへの買物

事業目	曜日・時間 内容
カラオケグループ	<ul style="list-style-type: none"> ○カラオケ同好会の自主的な集まりが、発展し毎日午前の部、午後の部と参加者が異なり、自主的に選曲操作のタッチパネル等操り、苦手な人の分はそれぞれ ○カラオケ同好会の自主的な集まりが、発展し毎日午前の部、午後の部と参加者が異なり、自主的に選曲操作のタッチパネル等操り、苦手な人の分はそれぞれ 援助など交流が自然にある。 ○時間帯も 9:30～11:30 に拡大した。 ○歌のジャンルや新旧の別にとらわれず兎に角自由に、どんどん新曲を歌う人もある。
+	
懐メロボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ○この懐メロボランティアさんとは、カラオケでとかく聞く一方の人が、一緒に歌うは驚き。 ○少しずつ懐メロボランティア 月に1～2回を通じて カラオケとは違った楽しみを1人でも実感してもらおうよう企画したい。

2) 地域交流について

平成 28 年度は、ふれあい福祉祭りの参加、久御山南病院と楽生苑との合同夏祭り、社会福祉協議会の認知症サポーター養成講座などへの参加や、サロン活動への講師登録等を通じ積極的に地域交流を図った。

5. 健康管理の実施

- (ア) 年1回の健診を実施。結果を主治医へ報告。入居者の健康管理及び維持に努めた。
- (イ) インフルエンザの予防接種を行い、また感染症予防のため手洗いの励行や消毒に努めた。
- (ウ) 食事摂取量の変化は健康のバロメーターと考え、異常に摂取量が少ない日が継続しないか観察した。

6. 避難訓練

水害対応訓練含め、年 3 回の全館避難訓練を実施した。内1回は、夜間想定を実施。その他、ケアハウスだけで 2 回避難訓練を実施した。11 月 27 日(日)午前 8 時頃特別養護老人ホーム 2 階汚物処理室での煙発生に際し、適切な避難口を判断しようと初動がとれた。

5 ヘルパーステーション（訪問介護、介護予防訪問介護）

今年度については、訪問介護員の人数は一定数を確保でき、新規の依頼に100%対応することができた。新しい居宅介護支援事業所のケアマネジャーとの関わりや現利用者の増回利用等に対応できた為、利用者に安心していただくことはできたと思われる。介護老人保健施設への入所、医療機関への入院や在宅復帰が困難になった方等も多くおられた。また、在宅での看取り支援については、支援に繋がる方は少なかったが、依頼は増加している。

今後の課題としては、訪問介護員の増員及び離職防止への取り組みを強化し、新規の依頼や日曜日・祝日、夕方から夜間時間帯の訪問が、より安定して提供できるような態勢の構築が必要と考える。

ヘルパーの研修については、外部講師による研修等を実施し、充実した内容となり、事業所内研修への出席率は昨年度より増加した。知識及び実技向上に繋がるようさらに内容を充実させ、スキルアップを図っていきたい。

1、研修内容

日 時	事業所内研修	外部研修
4月 12日 14日	①食品の調理方法と保存方法	
5月 10日 12日	①介護技術の実践(移乗等)の実技(外部講師)	集団指導
6月 9日 14日	①高齢者の食中毒、熱中症、脱水について	
7月 12日 14日	①介護技術の実践(入浴、身体保清関連等)の実技(外部講師)	接遇マナー、緊急時の介護
8月 18日 23日	①接遇、緊急時の介護	
9月 13日 15日	①認知症について	支援する人の支援
10月 11日 13日	①感染症について	
11月 8日 10日	①介護技術の実践(排泄介助等)の実技(外部講師)	在宅介護技術について
12月 8日 13日	①意見交換会 ②今さら聞けない介護技術について	
1月 10日 12日	①ヒヤリハット、法令遵守について	日常生活支援総合事業について(宇治市)
2月 9日 14日	①介護技術の実践(おむつ介助等)の実技	日常生活支援総合事業について(久御山町)
3月 9日 14日	①事業所への希望等意見交換	認知症の方の思いを探る

2、ヘルパー派遣利用者数

(単位:名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数(介護)	66	63	64	59	56	64	63	66	66	66	61	61	755
利用者数(予防)	42	42	45	41	45	44	42	49	41	47	44	44	526
合計	108	105	109	100	101	108	105	115	107	113	105	105	1,281

3、登録ヘルパー訪問回数

(単位:回)

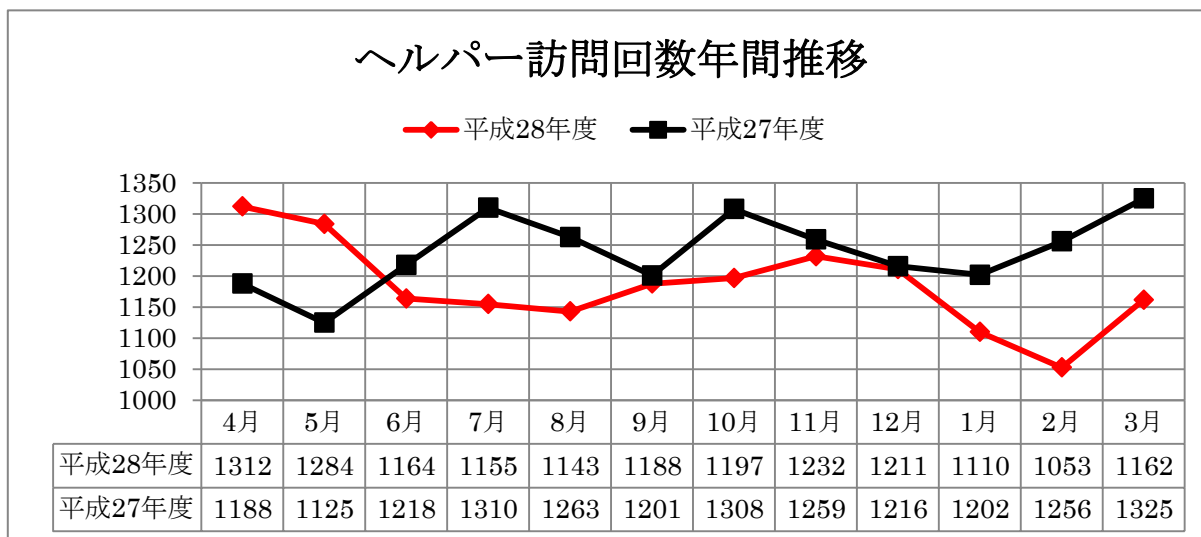
訪問回数	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	身体介護	430	380	347	338	306	301	333	398	400	342	333	368	4,276
	身体生活	76	84	78	69	69	90	72	57	62	53	59	76	845
	生活援助	547	535	475	465	461	483	510	502	489	449	405	421	5,742
合計(回)	1,053	999	900	872	836	874	915	957	951	844	797	865	10,863	

4、ヘルパー訪問回数前年度比較(図1)

(単位:回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成28年度	1,312	1,284	1,164	1,155	1,143	1,188	1,197	1,232	1,211	1,110	1,053	1,162	14,211
平成27年度	1,188	1,125	1,218	1,310	1,263	1,201	1,308	1,259	1,216	1,202	1,256	1,325	14,871
増減	124	159	-54	-155	-120	-13	-111	-27	-5	-92	-203	-163	-660

図1 ヘルパー累計訪問回数



5、訪問介護ヘルパー派遣前年度比較(図2)

(単位:回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成28年度	1,054	999	900	872	836	876	916	950	952	844	801	867	10,867
平成27年度	942	875	950	1,039	1,022	929	1,008	1,001	977	990	990	1,047	11,770
増減	112	124	-50	-167	-186	-53	-92	-51	-25	-146	-189	-180	-903

6、予防訪問介護ヘルパー派遣前年度比較(図3)

(単位:回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成28年度	258	285	264	283	307	312	281	282	259	266	252	295	3,344
平成27年度	246	250	268	271	241	272	300	258	239	212	266	278	3,101
増減	12	35	-4	12	66	40	-19	24	20	54	-14	17	243

図2 訪問回数（訪問介護）の推移

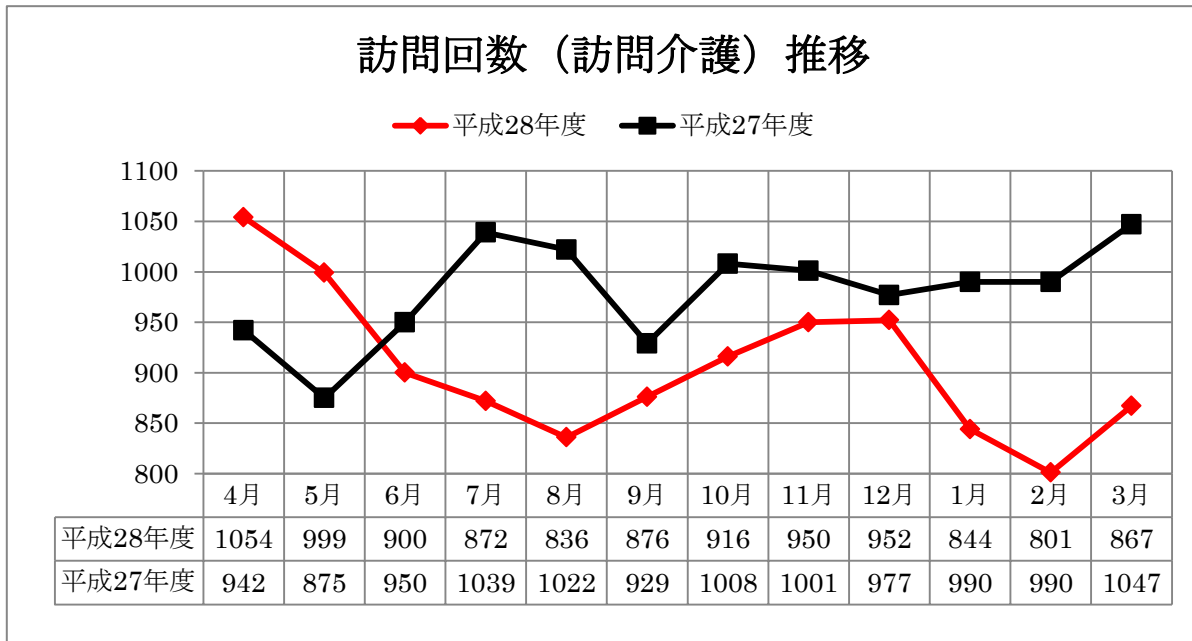
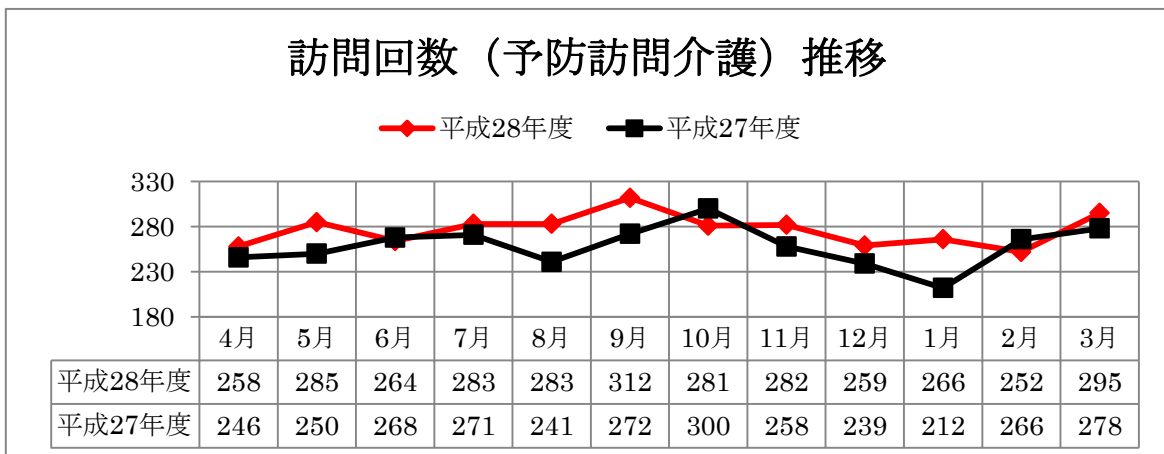


図3 訪問回数（予防訪問介護）の推移



6. 居宅介護支援事業所

今年度は給付管理件数 150 件／月を目標にしていたが、近隣市町村の介護老人保健施設やサービス付高齢者住宅、有料老人ホーム等施設への入所者数増加に伴い、月平均 110 件＋予防給付 36 件と目標を上回ることは出来なかった。しかし、給付管理票提出件数は、1333 件(前年比 +5 件) と増加している。特に予防給付は、前年度の月平均 25 件から 36 件と大幅に増加している。

介護支援業務においては、昨年度から引き続き、ターミナル支援を含む医療機関退院後の支援や介護保険サービスだけでは生活支援が行き届かないため、インフォーマル支援の併用等多種多様なニーズへの対応や各関係機関およびサービス提供事業者との調整を要する機会が増加。また、一人暮らしや高齢者世帯の支援等で、相談や訪問回数、時間等も増加している。定例会議や研修伝達会議、事例検討会等を定期的に開催し、事例の振り返り・確認を行うことができ、利用者の情報や支援内容等共有することができた。担当者のみならず、事業所全体で支援を行う取り組みができた。

利用者満足度アンケート調査を 2 月に実施。事業所およびケアマネジャーの総合的な評価は、満足が全体の 84%、どちらともいえない：4%、不満：0%、無回答：9%であった。今後もアンケート調査内容の見直し等含め顧客ニーズをより深く把握するための取り組みは、継続的に行う必要がある。

平成 28 年度の課題として残った、事例検討等内容の充実を図り、また、他職種との連携や質の高いケアマネジメントが実践できるような取り組みを行っていく必要がある。

1. ケアプラン作成実績 (図1)

(単位:件)

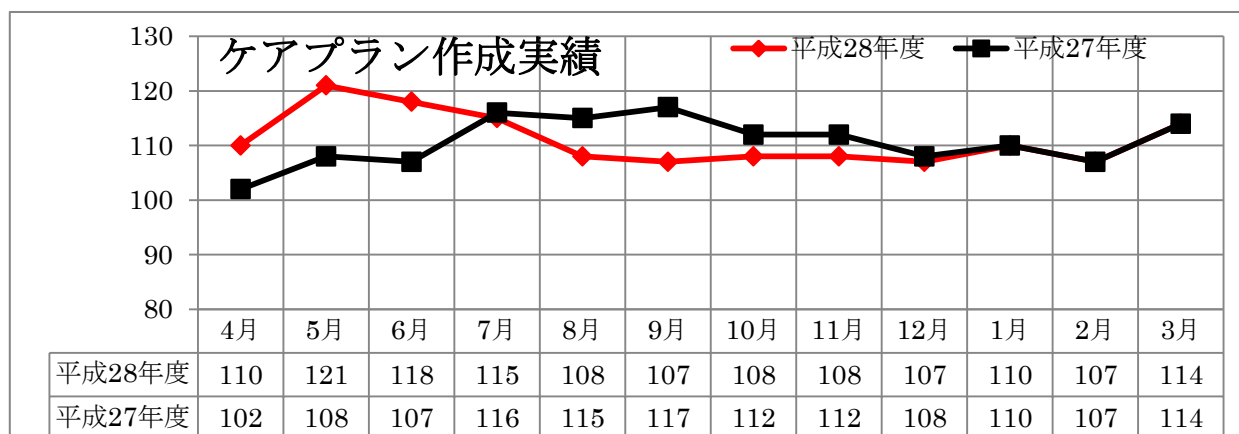
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成28年度	110	121	118	115	108	107	108	108	107	110	107	114	1,333
平成27年度	102	108	107	116	115	117	112	112	108	110	107	114	1,328

2. 要介護度別ケアプラン作成実績

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
要介護1	平成28年度	24	30	30	28	24	22	23	23	22	23	22	24	295	
	平成27年度	16	17	16	21	23	28	26	25	25	23	21	26	267	
要介護2	平成28年度	44	45	42	44	41	40	41	42	41	39	39	44	502	
	平成27年度	47	49	49	50	44	42	40	41	41	41	46	44	534	
要介護3	平成28年度	28	30	31	31	30	31	31	30	31	34	32	34	373	
	平成27年度	18	22	22	24	25	26	26	28	24	26	25	28	294	
要介護4	平成28年度	9	11	9	7	7	8	7	7	7	9	8	7	96	
	平成27年度	17	16	16	15	17	14	14	13	12	16	11	12	173	
要介護5	平成28年度	5	5	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	67	
	平成27年度	4	4	4	6	6	7	6	5	6	4	4	4	60	
居宅介護支援 介護給付費別 (年間総数)		平成28年度	介護度 1~2			797			介護度 3~5			536		合計	1,333
		平成27年度	介護度 1~2			801			介護度 3~5			527		合計	1,328

図1 ケアプラン作成実績

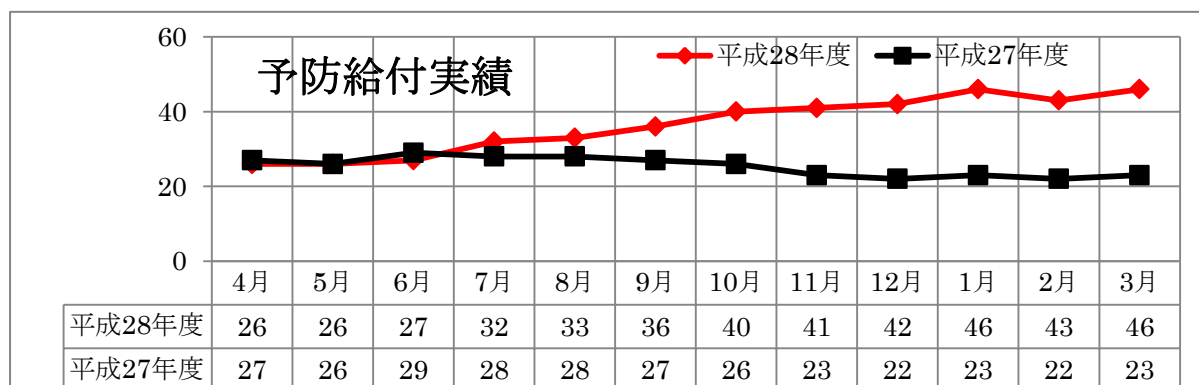


3. 予防給付(委託)実績 (図2)

(単位:件)

		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援	平成28年度	26	26	27	32	33	36	40	41	42	46	43	46	438	
	平成27年度	27	26	29	28	28	27	26	23	22	23	22	23	304	

図2 予防給付実績

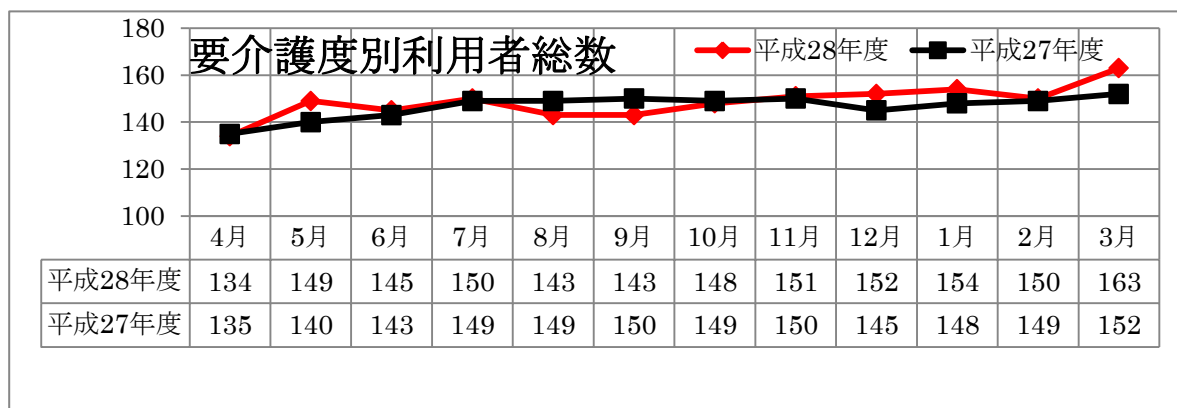


4. 要介護度別利用者総数 (図3)

		月												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
要支援1	平成28年度	3	4	4	4	4	5	5	5	6	7	8	9	64
	平成27年度	2	2	3	3	4	4	4	4	4	2	2	2	36
要支援2	平成28年度	19	22	25	28	28	28	32	35	36	34	34	32	353
	平成27年度	25	26	27	25	25	24	24	23	23	23	22	25	292
要介護1	平成28年度	24	30	30	28	24	22	23	23	23	23	22	22	294
	平成27年度	17	16	16	23	25	27	28	28	27	28	26	27	288
要介護2	平成28年度	44	45	40	44	42	41	42	43	42	40	40	48	511
	平成27年度	48	52	52	50	44	43	42	42	42	43	50	48	556
要介護3	平成28年度	28	30	31	31	30	31	31	30	30	34	32	34	372
	平成27年度	21	22	23	25	29	30	30	33	28	31	29	32	333
要介護4	平成28年度	11	13	11	9	9	10	9	9	9	11	10	14	125
	平成27年度	17	17	17	17	16	15	14	15	15	16	16	14	189
要介護5	平成28年度	5	5	5	6	6	6	6	6	6	5	4	4	64
	平成27年度	5	5	5	6	6	7	7	5	6	5	4	4	65
合計	平成28年度	134	149	146	150	143	143	148	151	152	154	150	163	1,783
	平成27年度	135	140	143	149	149	150	149	150	145	148	149	152	1,759

(注) 入院者等居宅介護支援介護給付費対象外の利用者含む

図3 要介護度別利用者総数



7. 平成 28 年度 研修一覧

特別養護老人ホーム

実施主体	研修名
京都府老人福祉協議会	京都府認知症介護実践者等養成研修
京都府看護協会	喀痰吸引等指導者養成研修
京都府	京都府介護支援専門員研修
一般社団法人 京都府老人福祉施設協議会	第 1 回総会 第 2 回総会
医療法人社団 洛和会	洛和会喀痰吸引等研修
京都府福祉人材センター	第 82 回老人福祉施設看護職・介護職研修
京都府社会福祉法人 経営者協議会	第 31 回総会及びセミナー
京都府社会福祉法人 経営者協議会	第 73 回京都府社会福祉法人経営者セミナー
京都府・京都労働局・職業安定所	平成 28 年度企業内人権啓発推進員研修会・ 京都府企業内人権問題啓発セミナー及び学 卒求人説明会
(株)葵総合保険	事例から学ぶ管理者の事故対応
京都府 福祉部	平成 28 年度民間社会福祉施設長研修
京都府	京都府社会福祉法人 経営者協議会 (職員の働きやすさを考える) 6 月 (人材の育成を考える) 7 月 (面談・評価の活用を考える) 8 月 (給与の体系と昇給を考える) 9 月
近畿老人福祉施設協議会	平成 28 年度近畿老人福祉施設研究協議会
京都府	介護保険サービス事業者等に係る集団指導
京都府	社会福祉法人制度改革の施行に向け
京都労働局	育児・介護休業及び男女雇用均等法の改正
南京都病院	平成 28 年 結核研修
共済会	基金・共済会・事務説明会 9 月 基金・共済会・事務説明会 3 月
京都府社会福祉法人 経営者協議会	第 74 回京都府社会福祉法人経営者セミナー
京都府社会福祉法人 経営者協議会	第 75 回京都府社会福祉法人経営者セミナー

京都府	社会福祉法人制度改革の施行に向けた説明
福祉人材・研修センター	京都介護・福祉職場面接会・相談会
京都府	施設従事者等における虐待防止と具体的な改善の取組について
一般財団法人 京都府介護福祉会	平成 28 年度資質向上の為の研修会 「第 6 回身体に関する基礎知識を学ぶ研修会」
一般社団法人 京都府老人福祉施設協議会	第 2 回山城ブロック施設長会・研修会
京都府	平成 28 年度特定給食施設等従事者研修会
京都府	要配慮者利用施設管理者向け説明会
久御山町消防本部	防火管理研修

デイサービス

実施主体	研修名
京都府看護協会	指導看護師フォローアップ研修
京都福祉人材サポートセンター	階層別研修・育成スキルアップ（中堅研修） 〃（指導職員研修）
日本通所ケア研究事務局	病院や介護現場の看護師に求められる認知症ケア習得セミナー
一般社団法人 京都府老人福祉施設協議会	平成 28 年度 老人福祉施設等職員研修

ケアハウス

久御山町	平成 28 年ふくろう隊研修会「介護保険とみんなの見守り」
木津川市	南加茂台で見守る認知症
京都府	施設従事者等における虐待防止と具体的な改善の取組について
久御山町 社会福祉協議会	第 3 回地域福祉推進委員会

ヘルパーステーション

実施主体	研修名
------	-----

京都府	介護保険サービス事業者に係る集団指導
(株)ニック	ケアマネのための利用者様やご家族との人間関係がよくなる接遇セミナー
介護労働安定センター	緊急時の介護、認知症の方の思いを探る、雇用管理責任者講習
京都府社会福祉人材研修センター	平成 28 年難病患者ホームヘルパー養成研修
京都府ホームヘルパー連絡協議会	支援する人の支援を考える
京都府ホームヘルパー連絡協議会	いまさら聞けないヘルパーの為の在宅介護技術
リコージャパン京都支社	介護予防・日常生活支援総合事業の準備
宇治市	介護予防・日常生活支援総合事業にかかる説明
介護労働安定センター	認知症の方の思いを探る

居宅介護支援事業所

京都府介護支援専門委員会	平成 28 年度介護支援専門員及び主任介護支援専門員研修
(株)ニック	ケアマネのための利用者様やご家族との人間関係がよくなる接遇セミナー
介護労働安定センター	雇用管理責任者講習 「雇用管理総論・安全衛生・健康管理」7月 「賃金管理総論」11月 「人事管理 労働時間管理」2月
近畿老人福祉施設協議会	近畿老人福祉施設研究協議会 京都大会
京都府	認証事業所 制度運用支援セミナー 「面談・評価の活用を考える」
久御山町、宇治市	介護予防・日常生活支援総合事業の対応
久御山町	地域包括ケア推進会議
京都府	介護保険サービス事業者に係る集団指導、 認知症リンクワーカー養成研修、 在宅療養コーディネーターフォローアップ

	研修、 介護支援専門員実務研修実習生の受け入れ について
京都府	在宅事例検討会、他職種連携について、 看取り研修会、 認知症の人にやさしい街づくり
京都病院・山城北・南保健所	神経筋難病研修会
やまきたリハビリテーション支援センター	やまきた地域連携のつどい（第5回・6回）
京都府看護協会	その人らしく生きること
久御山町、宇治市	介護予防・日常生活支援総合事業の対応
リコージャパン京都支社	介護予防・日常生活支援総合事業の準備
京都府	京都府介護支援専門員実務研修実習に係る 説明会